

一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

ロイロノート (iPad) の使い方②

今年度導入されているロイロノート (iPad) の活用についてお知らせいたします。

6年生の算数の授業で「拡大図・縮図」の学習をしました。

学習課題：(ある多角形をいくつか描いたとき、) その多角形が、いつでも拡大図や縮図の関係になるのは、どんな多角形か？調べよう！

今まで知っている多角形 (以下に示した多角形など) を描いてみて、それが「拡大図や縮図の関係になっているのか？」を (拡大図・縮図の性質を使って) 調べる授業が行われました。

三角形、二等辺三角形、直角三角形、正三角形、四角形、正方形、長方形、平行四辺形、ひし形、台形、五角形、正五角形、六角形、正六角形、七角形、正七角形・・・円

【 ロイロノート (iPad) の活用 】

一般的に「ICT (インターネット・コミュニケーション・テクノロジー)」は、次のようなケースで使うことにより有効な活用が実現できると思われます。

- (1) 問題を提示する。
- (2) 教科書の確認を行う。
- (3) 自分の考えを表現させる。
- (4) 書いたノート内容を発表させる。
- (5) 考えるためのポイントや資料等を提示する。

ICTを使って、これらを短時間で行うことによって生み出された時間を

- ①子どもが考える時間
- ②子どもが問題を解く時間
- ③子どもが、考えをまとめ、整理する時間
- ④子どもが考えを発表・交流する時間、等

に使うことにつながられます。そうすることで、限られた 45 分 (小学校)・50 分 (中学校) の授業時間をより効率的に使うことができ、深い学びにつながられていきます。



これをうまく実現させてくれるアイテム（道具）が、iPadであり、そこに搭載された「ロイロノート」と言われるアプリです。

更に「ロイロノート」を使うと

- 1 課題・問題の送受信
- 2 考え方・解き方の公開と検討
- 3 マンツーマンの意見交換
- 4 ノートとしての活用（まとめや授業板書を撮影して残しておく。）
- 5 授業で使用する資料の配信

6 児童・生徒が書いたものの集約などが可能になります。



受けた子どもは、「教室で授業を受けているのと全く同様に勉強ができました。」と言っていました。

更に今回は、欠席者の為に、授業の学習内容を live 配信しました。これに「ロイロノート」を使用して資料を送ったり、家庭にいる児童に書いたことや作品を提出させたりすることで、更に学習効果を上げられる様でした。また、欠席したけれども、iPad を使用して、授業を



これからの課題としては、時々、見たい所が見られなかったり、声が途切れたりする状態になることでした。

今後、カメラワーク等を工夫することで、乗り越えられると思われます。

「ロイロノート」を使うと、授業時間の効率化を図ると共に家庭に居ながら教室に居るのと同じように、資料を配ったり、人の話を聞いたり、発表したり、質問したりして理解を深めることができます。

今後、更に幅広い活用（色々な教科での活用）が、期待されます。